

外国人研修生との語学交流について — ベトナム・カントー大学からの研修生との交流を題材に —

玉井 啓 介*
tamai@kit.ac.jp

はじめに

2017年12月初旬に、本学が外国人研修生として受け入れるベトナム・カントー大学⁽¹⁾のプロジェクトマネジメントユニット副局長 PHAM Minh Duc(ファンミンドック)氏をお迎えし、各課が所管業務の説明および意見交換を実施する旨、人事労務課より依頼がありました。「職員が英語学習の成果を発揮する良い機会」とのこと、情報科学センターの施設および業務について、私の方で説明することになりました。実際の説明は、2018年1月18日(木) 9:00～10:00に実施しました。本稿では、その内容および所感について記録したいと思います。

情報科学センター自習室・演習室を案内

まずは、情報科学センターの会議室にて、お互いの簡単な自己紹介から始まり、本学の概要(教職員数等、規模)について説明を行いました。さらには情報科学センターを含め、さまざまな機関で研究支援を行っている、高度技術支援センターについて説明を行いました。



図1 会議室で全体案内および自己紹介

次に、情報科学センターの自習室・演習室を案内しました。自習室・演習室の他に、図書館、大学会館その他、合計200台以上の共用パソコンが存在し、情報科学センター提供アカウントを使うことでどこでも使えること、共用プリンタ、大判プリンタ、試験中の混雑具合等、説明しました。このあたりの内容は、年2回、留学生を対象に実施する、情報リテラシーガイダンスの内容をかいつまんで説明することで、比較的使い慣れた表現で案内することができたように思います。



図2 自習室・演習室を案内

情報科学センター管理室を案内

続いて、技術職員が普段業務に従事している管理室にて、サーバ管理・キャンパスネットワークの管理の説明を簡単に行いました。

各スタッフそれぞれの担当業務を説明したり、意見交換したりするだけの時間的余裕があればよかったです。私からの概要説明のみにとどまりました。想定質問等、交流のために管理室で予め準備できることがあったのではと悔やまれました。

* 高度技術支援センター 技術専門職員



図3 管理室を案内

情報科学センターサーバ室を案内

最後に、サーバ室の中をご案内しました。こちらは、1月18日(木)時点では、まだ新システムへの移行期間中だったため、旧システムラック、新システムラックをそれぞれ案内いたしました。仮想環境、運用サーバおよびバックアップサーバの物理容量、UPSの説明は、オープンキャンパスの際に見学希望者を案内する際の下稿があり、そちらを英訳することで比較的容易に対応することができました。

ネットワークラック前でも同様に、ネットワーク機器および、ファイアウォール機器の説明を、オープンキャンパスでの案内の英訳にて対応できました。原稿を読み上げるような形の案内は避けたく、内容をできるだけそらで言えるよう、繰り返し練習したつもりで、それは比較的達成できたように思いましたが、外国語とは言え、自分の言葉になっていたかどうかは、不十分な点があったのではと悔やまれます。



図4 サーバ室を案内

おわりに

以上、2018年1月18日(木)に実施しました、本学が外国人研修生として受け入れるベトナム・カントー大学のプロジェクトマネジメントユニット副局長 PHAM Minh Duc(ファンミンドック)氏への所管業務説明および意見交換について、簡単ながら記載いたしました。

前述のとおり、毎年2回ずつ、演習室で留学生を対象に情報リテラシー教育を実施してはおりますが、こうした施設紹介・業務紹介となりますと、用いる表現も、説明内容も大きく変わってきますし、「うまく伝えられていないのでは…」と不安になることもしばしばありました。ただ、個人的には、こうした反省も含めて、とにかく「場数」を踏むしか上達しない、と思っておりますので、今後もできる限り、こうした場²⁾に関わっていければと思います。

(1) ベトナム・カントー大学

<https://www.ctu.edu.vn/>

(2) 本学のスーパーグローバル大学創成支援事業に関する様々な取り組みは以下のページを参照。

■ 京都工芸繊維大学 | 採択校の取組：スーパーグローバル大学創成支援事業

<https://tgu.mext.go.jp/universities/kit/index.html>